

【施設状況】

施設名称	保育園(芋井、青池、清野、西条)									
指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会						法人番号	5100005001689		
所管課	主	117000	保育・幼稚園課		副					
構成施設	1506	芋井保育園								
	1517	青池保育園								
	1499	清野保育園								
	1508	西条保育園								
施設分類	05	保健福祉・医療型			施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	・青池保育園:鉄骨平屋造 398.45㎡、定員20人、保育室2室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 ・西条保育園:鉄骨平屋造 426.87㎡、定員30人、保育室3室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 ・清野保育園:鉄骨平屋造 493.02㎡、定員30人、保育室3室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 ・芋井保育園:鉄骨平屋造 392.40㎡、定員20人、保育室2室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭									
施設設置目的	児童福祉法に基づき、保育を必要とする児童を保育するための認可保育所を設置する。									
基本方針等	長野市保育所の設置及び管理に関する条例、長野市特定児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例、長野市特定児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例施行規則、長野市保育所管理規則に定める規定に従う。									
主な実施事業	・保育の実施 ・保育に関する相談、助言の実施 ・特別保育事業の実施									

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名		社会福祉法人長野市社会事業協会			当該指定管理者の 指定回数	6 回	
指定期間		令和3年4月1日	～	令和8年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	平成18年4月1日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。						評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)						3

2 施設の有効活用

No. 23

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年比	3
	青池保育園 在園児数	人	13	15	16	11	69%	
	西条保育園 在園児数	人	31	32	26	21	81%	
	清野保育園 在園児数	人	36	36	36	35	97%	
	芋井保育園 在園児数	人	15	9	8	8	100%	
	合計	人	95	92	86	75	87%	
(特記事項)								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	・保育の実施 ・保育に関する相談 ・特別保育の実施 ・通園バスの運行(芋井保育園)						
	自主事業	・提案を求めている						
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・園開放や園行事について、子育て情報誌への情報提供と掲載 ・一時預かりの実施 ・行事等に関するチラシの配布 ・世代間交流の実施						

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート		
	(2) 調査、会議等の内容 《青池》玄関先に意見箱を常時設置。年2回の個別懇談会や保護者会、送迎時保護者から意見・要望の聞き取り。年度末に行事等のアンケートを実施し結果を踏まえて次年度の行事ごとに反映できるかを検討する。 《西条》日常的に連絡ノートの活用や送迎時において保護者とのやり取りをしている。保護者へは行事の参加ごとにアンケートの実施をしている。年度末にはアンケート結果・評価を行った。 《清野》年度初めに担任職員と保護者で個別懇談を実施。送迎や連絡ノートで保護者の意見や要望を聞き取るようにした。年度末には全体についてのアンケートを実施した。 《芋井》保護者参加の行事終了後、アンケート調査を実施した。保護者総会、個別懇談会、送迎時、連絡ノートで意見や要望を把握した。			
利用者からの評価・苦情等	(3) 調査、会議等の結果	《青池》アンケート回収率100%。意見箱への投函無。個別懇談では全員に意見等の聞き取りを行い個別目標に反映。結果を保護者会などで報告し周知。 《西条》家庭からの心配事などはその都度対応し、必要に応じて個別面談などを行いました。 《清野》アンケート結果は公表した。保護者からの意見等には随時対応し、必要な時には個別の対応も行った。 《芋井》①春のNPIC体育参加②芋井小学校との合同運動会③リトミック参加④夏祭り⑤夏野菜料理⑥親子遠足⑦秋のNPIC体育参加⑧おたのしみ会 8つのアンケート結果(全て)・・・良い100%		4
	(1) 良好とする評価 《青池》自然環境を生かした保育・個々を尊重した保育には高評価を受けている。保護者・地域住民の協力により円滑な運営ができています。行事時に祖父母・地域老人・宅老所・小学生・未就園児の方々を招いている事に高評価を受けている。 《西条》伸び伸びと保育園で楽しむことが出来るよう、子どもたちの思いも取り入れていただき、楽しんでいる。全員の先生から声をかけてもらい、よく見てもらっている。 《清野》こどもが保育園が大好きと言っている。忙しい中子どもの様子を話してくれて嬉しくありがたい。続けて欠席した時にオクレンジャーでの連絡で早急に把握できたことがあって助かった。などの意見をいただいた。 《芋井》少人数の中いつも工夫してくださっている。内容が充実している。日程が良い。子ども達と一緒に楽しい時間を過ごせた。子ども達と一緒に体を動かしたり成長を見られるので良かった。行事が土曜日開催のため仕事を気にせず参加できてありがたい。第2、第4土曜日に実施していただいているので父親も参加できて嬉しい。			
利用者からの評価・苦情等	(2) 苦情・改善等の要望事項	《青池》苦情等はないが園児減少による保育園継続を心配する声は上がっている。 《西条》お迎え時、子どもの様子を聞かせてほしい。 《清野》クマが心配。行事等のおたよりは早めに出してほしい。幼児のひとクラスは厳しいのでは。常勤以外の職員の顔と名前を知っておきたい。おたより類や土曜保育の申し込み等をアプリでできないか。写真をデジタル対応の物にできないか。保護者参観も運動などではないものが良い。 《芋井》なし		
	《対応措置》 《青池》小規模園の特性を生かした保育や魅力を、ホームページや園児募集のポスター掲示でPRした。 《西条》より丁寧な保護者のかかわり方等を職員に確認した。 《清野》園の活動について野生鳥獣の出没情報を共有し、要望に沿った内容(保護者参観や園児の年齢ごとの活動、臨時職員の紹介等)を検討、実施した。また、おたよりや申請関係は連絡網システムをより活用できないか検討した。なお、写真のデジタル化は次年度施設と検討する。 《芋井》なし			

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				評価			
	年度計画額		収支実績額		令和7年度決算		令和6年度決算(前年度)					
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額				
事業収支 (単位:円)	指定事業	利用料金		利用料金		歳入	使用料	7,003,530	使用料	5,800,580	3	
		指定管理料	174,052,000	指定管理料	182,709,580		雑(納付金)		雑(納付金)			
		委託料		委託料			行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料			
		販売収入等		販売収入等			貸付料		貸付料			
		その他収入	4,807,000	その他収入	4,295,539		その他		その他			
		バス運行事業	2,327,000	バス運行事業	2,348,001							
		補助金	1,676,000	補助金	2,537,748							
		収入計	182,862,000	収入計	191,890,868		計	7,003,530	計	5,800,580		
		人件費	151,260,000	人件費	143,134,686	歳出	指定管理料	182,709,580	指定管理料	165,375,790		
		設備管理費	385,000	設備管理費	303,740		委託料	2,348,001	委託料	2,449,000		
		備品購入費	3,318,000	備品購入費	2,670,082		需用費		需用費			
		修繕費	2,237,000	修繕費	878,015		役務費		役務費			
		光熱水費	6,851,000	光熱水費	5,089,141		使用料・賃借料		使用料・賃借料			
		事業費	8,570,000	事業費	6,949,309		修繕費	1,080,220	修繕費			
		事務経費	10,161,000	事務経費	9,188,665		工事請負費		工事請負費			
		本社経費	6,146,000	本社経費	6,466,593		備品購入費		備品購入費			
		その他		その他	12,190		その他		その他			
				利益配分			補助金	2,537,748	補助金	3,059,778		
	支出計	188,928,000	支出計	174,692,421	計		188,675,549	計	170,884,568			
	指定事業損益	-6,066,000	指定事業損益	17,198,447								
	利益配分を除く 指定事業損益	-6,066,000	利益配分を除く 指定事業損益	17,198,447								
	自主事業	収入		収入								
		支出		支出								
		自主事業損益	0	自主事業損益						0		
	損益	-6,066,000		17,198,447		差引	-181,672,019		-165,083,988			
	人件費比率[人件費(賃金等)／令和7年度指定管理者事業支出](支出に占める人件費の割合)											81.9%
	本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				本部経費(人件費等)の実績により、再計算を行っているため。							

5 管理運営全般 ※すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分		確認内容	チェック欄	評価	
管理運営全般	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	4	
		配置実績 (うち市内雇用職員数)			園長4(3)人、保育士43(41)人、調理員11(10)人、バス運転手3(3)人、バス添乗員2(2)人 計63(59)人
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☒		
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☒		
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実施されたか	☒		
2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか					
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☒			
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか				

6 危機管理体制

※ すべて ☒ で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

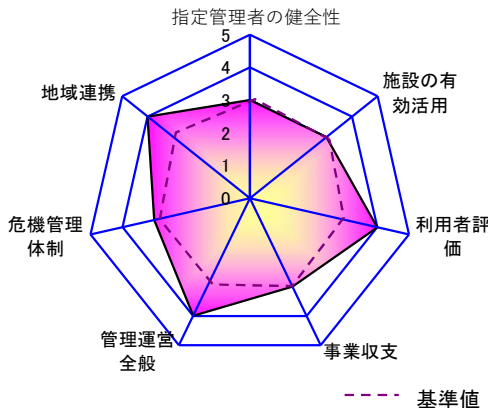
No. 23

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
------	--	--	--

【総合評価】

総合評価			
評価項目	評価	得点	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	4	16	70
事業収支	3	6	
管理運営全般	4	16	
危機管理体制	3	12	
地域連携	4	8	
			
評価理由	・「利用者評価」について、アンケート実施や送迎時や連絡ノートで要望等を聞き取り、その結果を反映させた運営をしていることから利用者の評価が高いため「4」とした。 ・「管理運営全般」について、職員の配置が配置基準に沿った適正なものであり、施設内外の研修にも積極的に参加し職員・保育の資質向上を図っており、円滑な施設運営が実施されていることから「4」とした。 ・「地域連携」について、小学校や宅老所などとの世代間交流や地域行事へ積極的に参加しており、地域の各種関係団体と協働・連携できていること。また、職員のほとんどが市内雇用であることから「4」とした。		
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	様々な事情により入所数が少なく困難な状況だが、特色を出した保育の実施により園児獲得に努める。	未満児の途中入園を受け入れることで園児数を確保できた。 利用者からの要望等にも常に真摯に向き合い迅速丁寧な対応をし、新たな利用者からも信頼を得られた。	
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・園児の人権を尊重し、一人一人が安心・安全な環境の中で、各園の特色を生かした園児主体の保育、行事等実施していく。 ・地域や小学校との連携をより強く図り、さらなる魅力を発信し、園児の確保に努める。		

指定管理者自己評価		
(1) 今年度の取組みに対する評価 ① サービス向上に向けての取組み 《青池》全職員が保育の資質向上の為、様々な研修への参加をした。また保護者からの意見要望を聞きながら保育に取り入れた。雪上運動会をはじめ恵まれた環境を生かした保育を実施した。計画した行事すべてを実施する事ができた。 《西条》研修等参加し、内容は職員で共有し、より良い保育の場となるようにした。小学校と連携し、季節の行事等で交流を図った。 《清野》園児主体となるよう子どもたちの意見を大切にしながら、保護者の意見と合わせて保育の提供に努めた。特性のある園児の対応・配慮なども適切に行えるよう研修等で学んだり、発達相談や児童発達センターの巡回訪問でのアドバイスを取り入れるようにした。運動遊びに力を入れ、園児の発達・成長を育むようにした。 《芋井》保育士の資質向上のために、様々な研修に参加した。学んだことを報告し合い、統一した保育に努めた。より良い保育の実現に向け「自己評価」を行った。日々の保育が充実し、豊かで健やかな育ちが補償されるように、結果を振り返り共通理解した。取り組みの過程で職員間の会話が増え、子どもに対する気付きを得たり理解を深めたりすることができた。 ② 業務の効率化に対する取組み 《青池》勤怠システムで勤務時間の管理をすることにより時間内で業務を終えるよう努力した。支援システムを活用し業務の省力化を図った。 《西条》時間内に記録等が進められるよう職員間で効率の良い業務を意識して協力しながら取り組むことが出来た。 《清野》勤務時間での事務処理時間を設けているが、時間外勤務は増え、業務の効率化には繋がらなかった。引き続き生産性向上について検討が必要。早朝・夕方・土曜日出勤できる臨時職員が少ないため、常勤職員の時間外労働時間が増えてしまったり、人員配置が難しいことが生じてしまう。 《芋井》職員の会の口頭での事務連絡を文章に変更したり、事前に議題を周知し、考えをまとめて参加するようにしたこととで時間短縮に繋がった。勤務時間内に記録等を終えることが出来るように、全職員が効率の良い業務を意識し協力した。 ③ その他 《青池》研修への積極的参加により保育のスキルアップを図った。虐待防止のための研修を行った。BCPの策定を進めている。 《西条》安全計画等マニュアルの読み合わせなどし全員が周知できるようにした。 《清野》清野小学校閉校後、近隣の小学校は徒歩では距離があり、幼保小の交流が難しい。クマなどの心配から園外での活動の制限が生じてしまった。巧技台などの整備により、運動遊びを充実させ体作りに力を入れている。 《芋井》安心安全な保育実施のため、年度初めに、全職員で「危機管理マニュアル」「事業継続計画BCP」「安全計画」を共通理解した。より良い保育の実現に向け「虐待防止チェック」を行った。個々に自分の保育を振り返り、どのようなことに気を付けていくことが必要か共有することが出来た。		
(2) 指定管理者業務実施上の課題 《青池》園舎等の老朽化が進んでいる。修繕箇所多数。保育園存続危機への保護者や地域の懸念。 《西条》地域における園児減少は避けることが出来ないため、運営に関しての協議は必要である。 《清野》旧清野小学校跡地のメンテナンス面での不安。クラスの人数は小規模だが、配慮が必要な園児が多いため、加配となる職員（臨時職員など）は不可欠である。建物の老朽化により今後の修繕箇所が予測できないこと。 《芋井》施設、設備の老朽化が進み、予測できない修繕箇所が増えている。		
(3) 総合評価 評価基準 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る	指定管理者 自己総合評価	B
① 評価理由 《青池》行事、保育の遂行が計画通り行えたこと。全職員が研修に積極的に参加できた事。9月に1歳児1名が入園し利用目標を上回った事。 《西条》年度途中の受け入れを積極的に行い目標率達成は出来た。保護者の協力や理解のもと保育、行事など進めることが出来た。 《清野》臨時職員の配置により、配慮が必要な園児がいても配置基準を満たしている。また、年度途中の入園も受け入れることができた。平日に行う行事を取り入れたことで、保育士の働き方の見直しが出来たことと、平日の保育への支障を減らすことができた。 《芋井》利用率の目標値40％に達することが出来なかった。加茂保育園との交流保育を年間12回、芋井小学校との交流を年5回実施し、多くの友だちと関わり、社会性、協調性を身に付ける機会を設けた。日々の保育、行事について保護者から好評をいただくことができた。 ② 次年度以降の取組み 《青池》子ども主体の丁寧な保育を継続して行う事。園児確保の努力を継続する事。地域との連携を今以上に図ること。 《西条》子どもの気持ちを受け止め、園生活が豊かであるよう、職員は自分自身の資質向上に努め職員間でコミュニケーションを密にし、小規模園の特徴を生かした保育を目指す。地域、小学校との連携を大切にしながら園児確保に努める。 《清野》鳥獣の対策も含め、園への協力や理解をしてもらえるよう地域との交流の機会を作る。園児主体の保育を行うため、研修等で最新の保育の理解を深めると同時に配慮が必要な園児への支援方法も更に学んでいく。 《芋井》職員は様々な研修に参加し、資質向上に努める。職員一人ひとりが考えを出し合い、話し合っ、少人数だから出来る経験、魅力のある保育、工夫した行事を行い、みなさんの心に残る一年を目指す。地域、小学校とのかかわりを大切にし連携を深める。		